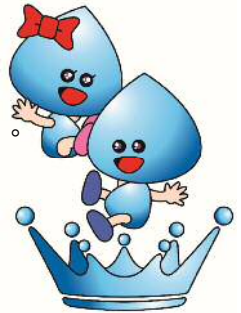


## 水の大切さを知って・学ぼう 水道週間イベント

### ■水道週間中、市内でさまざまなイベントを開催

6月1日から6月7日まで、さまざまなイベントが開催された「第59回水道週間」。期間中には、多くの人々がイベントに参加し、普段何気なく使っている水道について理解を深め、水の大切さを再確認しました。



### ◆「生徒による記念植樹」◆

水道についての関心と理解を深めてもらうとともに、登米市の豊かな水資源を、次世代に引き継ぐため、登米中学校1年生による植樹作業が5月31日（水）、登米町日根牛字上羽沢地内で実施されました。

当日は晴天の下、登米森林組合の職員の方から植樹作業の注意点などの説明を受けた後、みんなで心を込めてヤマザクラやキハダなど広葉樹200本を植樹しました。

参加した子供たちは「登るのが大変だったけど植樹をすることが出来た」などと感想を述べていました。



足場の悪い中、一生懸命登りました。



森林組合の指導員から植樹の方法について説明を受けました。



急な斜面での作業のため、足元に注意しながら作業を行いました。



植樹終了後、代表者の生徒が感想を述べ、無事に終わることができました。

## ◆「園児によるヤマメの稚魚放流」◆

川に親しみを持つとともに、環境保全活動、環境教育の取り組みの一環として、6月6日（火）北上川右岸の水辺プラザ船着場で、登米幼稚園の園児 13 名と登米保育所の園児 12 名がヤマメの稚魚を放流しました。

園児たちは、「大きくなって帰ってきてね」と声を掛けながら、優しく稚魚を放流しました。



ヤマメについて、かっぱの会の方が説明を行いました。



ライフジャケットを着用しました。これから放流を行います。



園児たちは、はじめて見るヤマメに興味津々でした。



稚魚の放流開始です。落ちないように気をつけて放流しようね。



放流されたヤマメは元気よく泳いでいきました。



放流が終わって園児から「ありがとうございました」とお礼の言葉を頂きました。

## ◆「北上川クリーン作戦」◆

登米市の水道の主な水源となっている北上川。その堤防を美化し安全を守るため、取水口周辺の堤防をきれいにする「北上川クリーン作戦」が6月5日（月）に実施されました。

当日は天候にも恵まれ、関係者をはじめ登米市管工事業協同組合の皆さんやとよま北上川かっぱの会、ボランティアなど約90名が参加し、午後3時から4時までの約1時間、堤防上を清掃作業に汗を流しました。

作業では、大きなごみ袋を手に堤防や河川内に落ちているビニール類やペットボトル、空き缶、空き瓶などを拾いました。終了後には流木などを含めたくさんのゴミが回収されました。

ご協力いただいた皆さん、大変ありがとうございました。



今年度も大勢の方々にクリーン作戦にご参加いただきました。



大勢の方にご参加頂き、沢山のゴミを回収することができました。



かっぱの会の皆さんの協力をいただき河川敷に流れ着いた大きな竹や枝などは、船で引き上げることが出来ました。



集まったゴミは、ペットボトルや空き缶など家庭から出るゴミがほとんどでした。